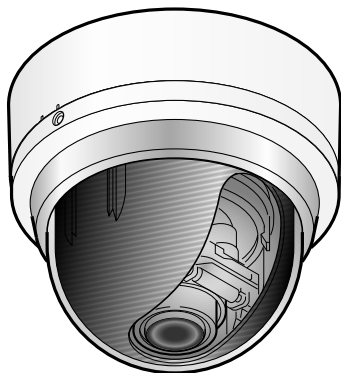


## ドーム型カメラ

---

型名 **ESV-S222**  
**ESV-S232**  
**TND-C222**

## 取扱説明書



お買い上げありがとうございます。

ご使用前にこの「取扱説明書」と別冊の「メニュー設定」「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。

特に別冊の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。

お読みになったあとは大切に保管し、必要なときにお読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

## はじめに

### もくじ

#### はじめに

もくじ .....	2
正しくお使いいただくためのご注意 .....	3
各部の名称 .....	5

#### 準備

スイッチ設定について .....	8
接続ケーブルについて .....	10

#### 設置

カメラを取り付ける .....	13
-----------------	----

#### 調節

映像を調節する .....	18
オートホワイトバランス調整 .....	23
ドームカバーの取り付け .....	24

#### その他

保証と修理サービスについて .....	26
仕様 .....	27

### この取扱説明書の見かた

#### 本文中の記号の見かた

**で注意** : 操作上の注意が書かれています。

**メモ** : 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

**☞** : 参考ページや参照項目を示しています。

#### 本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では ™、®、© などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

## 正しくお使いいただくためのご注意

### ■ 保管および使用場所

- 本機は屋内用のカメラです。屋外での使用はできません。
- 設置する場合、次のような場所は避けてください。
  - ・雨や湿気にさらされる場所
  - ・厨房など蒸気や油分の多い場所
  - ・使用周囲温度(-10℃～50℃)を超える場所
  - ・腐食性のガスが発生する場所
  - ・放射線やX線及び強力な電波や磁気が発生する場所
  - ・振動する場所
  - ・ほこりの多い場所
- ラジオやテレビの送信アンテナの近く、変圧器・モーターなど強い電磁波が発生する機器の近く、またはトランシーバーや携帯など無線機器の近くで本機を使うと、画像にノイズがのったり、色ムラを起こすことがあります。
- 本機を冷気があたる場所やエアコンの噴出口の近くに設置しないでください。急激な温度変化によってドームカバーがくもるおそれがあります。
- レンズを直接太陽に向けないでください。太陽光など強い光の当たる場所に置くと、光が焦点に集まって、火災の原因になることがあります。

### ■ お手入れについて

- ドームカバーは、レンズふき用布(または柔らかい布)を使用して汚れをふきとってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を水でうすめてふき、あとでからぶきしてください。シンナーやベンジンなどでふかないでください。表面がとけたり、くもったりします。

### ■ 省エネについて

- 長時間使用しないときは、安全および節電のため電源を切ってください。

### ■ 著作権保護に関して

- お客様ご自身が、素材画像の著作権者であるか、または著作権者から複製などについて許諾を受けている場合を除き、他人の著作物を素材画像として、複製、改変、送信などするには原則として著作権者の許諾が必要です。
- 許諾を得ないで他人の著作物を複製、改変、送信などした場合には、著作権法違反とされ損害賠償などの責任を負うことがありますので、他人の著作物を素材画像として使用する際、その著作物の使用許諾条件などについては、お客様ご自身で十分ご確認ください。
- また、複写体の権利(者)が存在する場合は、撮影の許諾、利用(加工)の許諾を受ける必要がありますので、お客様ご自身でそれに係わる許諾条件を十分ご確認ください。

### 正しくお使いいただくためのご注意(つづき)

#### ■ 免責について

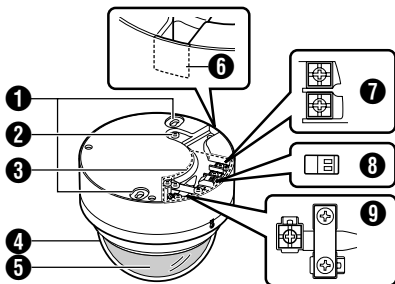
- 本機のカメラ映像によりプライバシー侵害などが発生した場合、万一発生した不便や障害に対する責任は一切負いません。

#### ■ その他

- 本機を[AGC]設定の"Mid"または"High"で使用したとき、暗い画像では自動的に感度が上がり、画面がザラついた感じになる場合がありますが、これは故障ではありません。
- DAY/NIGHT 切換スイッチを"AUTO"にすると、暗い場所では白黒モードとなります。このとき、感度が上がるため、画面がザラついたり、白点が増えることがあります。また、モードの切り換わり時に画面の明るい部分が強調され、見えにくくなる場合がありますが、故障ではありません。
- カメラ映像から白黒映像に切り換え時、光学フィルター切換モーターの動作音や、映像が一瞬暗くなる場合がありますが、故障ではありません。(ESV-S232)
- 高輝度の被写体(ランプなど)を撮影したとき、画面上で高輝度の被写体の上下方向に白い尾引き(スミア)、および高輝度の被写体周辺のにじみ(ブルミング)が現われます。これは CCD 特有の現象で、故障ではありません。
- 本機のホワイトバランスを"ATW-N"または"ATW-W" に設定して使用したとき、被写体の状況により自動追尾ホワイトバランス回路の原理上、実際の色と多少色合いが異なる場合がありますが、故障ではありません。
- 本機は高温下で使用したとき、画面上に縦縞が発生することがありますが、これは CCD 特有の現象で故障ではありません。
- 本機を寒い場所から暖かい室内などへ移動したときに、結露が発生し、動作しない場合があります。この場合は室温に1時間程度放置したあと、電源を入れてください。
- 落雷やエアコンの電源投入などによって、電源電圧が瞬間的に断たれる、もしくは低下した場合、画像が乱れたりノイズが混入することがあります。
- カメラの電源電圧が低下すると、カメラ内部の入力保護回路が動作して、カメラの電源が切れることがあります。カメラの電源電圧は、定格電圧の±10%以内でご使用ください。(TND-C222)
- 本機は、広範囲な設置に対応するためローテーション角を大きくしています。レンズのズームがワイド側、かつチルトの角度が±80°付近の場合、ローテーションの角度によってドームカバーが映像内に映り込むことがあります。そのときは、必要に応じて画角の調節を行なってください。(P.19 ページ)
- 本機に搭載の3次元ノイズリダクションは動きのある被写体では原理上残像が生じることがあります。[DNR LEVEL]設定の"High"で使用したとき、残像が生じやすくなりますが故障ではありません。
- ESV-S222/ESV-S232 で使用できる VP 多重電源ユニット(電源ユニット)は EVC-10P/EVC-60P/EVC-90P です。

## 各部の名称

## カメラ本体



- ① 取付穴 × 2  
(☞16 ページ)
- ② 落下防止ワイヤー取付ねじ  
(☞15 ページ)
- ③ 表示シート  
(☞10 ページ)
- ④ ドームカバー  
(☞14 ページ)
- ⑤ インナードーム  
(☞14 ページ)
- ⑥ ケーブル取出孔  
(☞17 ページ)
- ⑦ 電源ケーブル接続端子(TND-C222)  
(☞10 ページ) (☞15 ページ)
- ⑧ アラームケーブル接続端子(ESV-S232)  
(☞12 ページ) (☞15 ページ)
- ⑨ 同軸ケーブル接続端子(電源ユニット)  
(ESV-S222/ESV-S232)  
同軸ケーブル接続端子(ビデオモニター)  
(TND-C222)  
(☞11 ページ) (☞15 ページ)

▶ 次ページへ

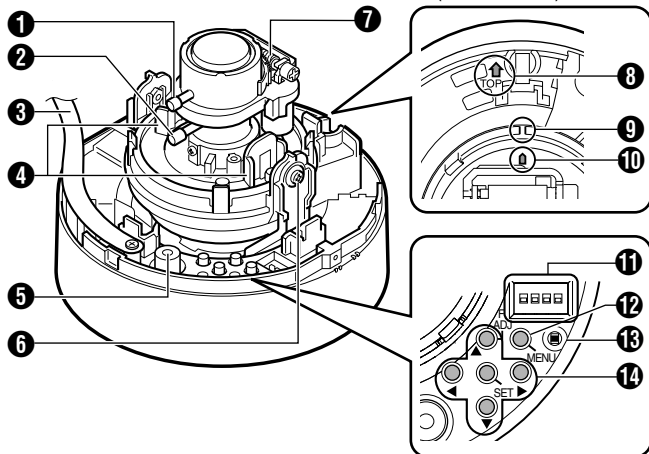
## 各部の名称(つづき)

### カメラ内部

ドームカバー、インナードームとカメラ本体をはずした状態です。

取りはずし方:

"カメラを天井に取り付ける/壁などに横付けする" (☞13 ページ) 手順 2~3



**①** フォーカス調節リング

(☞20 ページ)

**②** ズーム調節リング

(☞20 ページ)

**③** 落下防止シート

(☞14 ページ)

**④** ローテーションつまみ

(☞19 ページ)

**⑤ [MONITOR]モニター端子 (ピンジャック)**

(☞18 ページ)

**⑥ チルト固定ねじ**

(☞19 ページ)

**⑦ フォーカスアジャストギア**

(☞20 ページ)

**⑧ 撮影方向マーク**

(☞16 ページ) (☞19 ページ)

**⑨ パンセンターマーク**

(☞19 ページ)

**⑩ ローテーションセンターマーク**

(☞19 ページ)

**⑪ 機能選択スイッチ**

(☞8 ページ)

**⑫ [MENU]ボタン**

メニュー画面を表示します。

メニュー設定の詳細は、「メニュー設定」(別冊)をご覧ください。

**⑬ ステータス表示灯**

電源が入ると点灯します。

**⑭ [▲、▼、◀、▶]/[SET]ボタン**

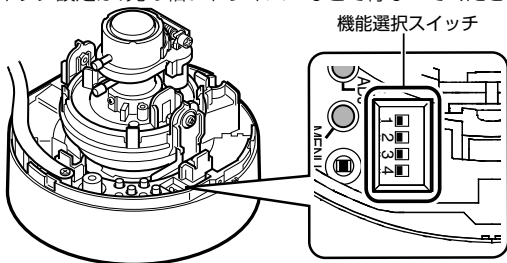
メニュー画面の選択、設定値の変更、決定を行います。

フォーカスの微調節(☞21 ページ)

オートホワイトバランス調整(☞23 ページ)

## スイッチ設定について

カメラを取り付ける前に、カメラ本体にある、機能選択スイッチの設定を行います。スイッチ設定は、先の細いドライバーなどで行なってください。



機能選択スイッチの設定表

		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
① 1	CABLE LENGTH	OFF	ON
		OFF	ON
④ 3	MONITOR TYPE	LCD	CRT
		LCD	CRT
⑤ 4	SHUTTER	VARIABLE	1/100

(ESV-S222/ESV-S232)

		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
② 1	D/N	AUTO	OFF
		AUTO	OFF
③ 2	BLC	OFF	ON
		OFF	ON
④ 3	MONITOR TYPE	LCD	CRT
		LCD	CRT
⑤ 4	SHUTTER	VARIABLE	1/100

(TND-C222)

### ① [CABLE LENGTH] ケーブル長切換スイッチ (ESV-S222/ESV-S232 のみ)

本機と電源ユニット間を接続する同軸ケーブルの長さによって、下記のようにスイッチ設定が必要です。

スイッチ設定		SHORT	MID	LONG	EXT LONG
		1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/>	1 <input checked="" type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/>
ケーブル長	3C-2V	0m~165m	165m~300m	-	-
	5C-2V	0m~165m	165m~333m	333m~500m	-
	7C-2V	0m~165m	165m~333m	333m~500m	-
	5C-FB	0m~200m	200m~400m	400m~600m	600m~800m

(出荷位置: SHORT)

#### メモ

モニターによっては、画面の右端または左端に黒い帯が出る場合があります。そのようなときは、「メニュー設定」(別冊)の[H.PHASE]項目で画面位置を調整してください。



**② [D/N AUTO/OFF] DAY/NIGHT 切換スイッチ (TND-C222 のみ)**

昼と夜などのように輝度が変わる被写体を連続して撮影する場合"AUTO"に設定します。輝度が高い場合はカラー映像、低い場合は白黒映像となります。"OFF"のときは常時カラー映像になります。

(出荷位置: AUTO)

**メモ**

ESV-S222/ESV-S232 は、メニュー画面で設定します。ESV-S232 は、メニュー設定で常時白黒映像にすることができます。詳細は"メニュー設定" (別冊) をご覧ください。

**③ [BLC OFF/ON] 逆光補正切換スイッチ (TND-C222 のみ)**

被写体が逆光状態のとき"ON"にすると、メニューの[BLC AREA]で設定した測光エリアで明るさを調整するため、被写体が見えやすくなります。

(ESV-S222/ESV-S232 は、メニュー画面で設定します。)

(出荷位置: OFF)

**メモ**

"メニュー設定" (別冊) の[BLC AREA]項目を参照してください。

**④ [MONITOR TYPE LCD/CRT] モニタータイプ切換スイッチ**

使用するモニターに合わせて"LCD"または"CRT"に切り換えます。

(出荷位置: LCD)

**メモ**

"メニュー設定" (別冊) の[LCD TYPE]項目を参照してください。

**⑤ [SHUTTER VARIABLE 1/100] シャッタースピード切換スイッチ**

蛍光灯下でフリッカー(ちらつき)が発生するときに"1/100"に設定します。

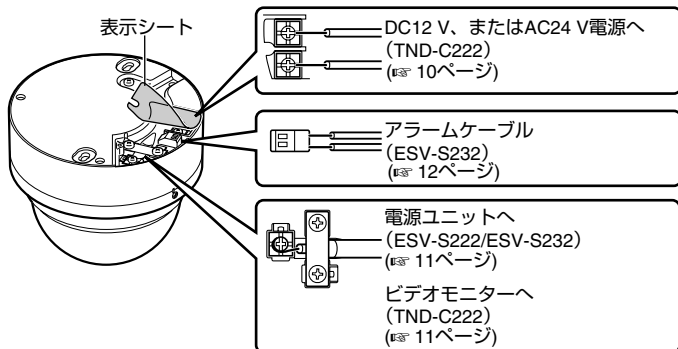
(出荷位置: VARIABLE)

## 接続ケーブルについて

接続するケーブルの種類や長さによって最大の接続距離は異なります。

- 接続は、必ず使用機器の電源を切ってから行なってください。
- 表示シートを固定しているねじをプラスドライバーでゆるめ、表示シートをはずしてから接続します。接続後は、表示シート元に戻してください。

**ご注意** 異物混入によるショートを防止するため、表示シートを必ず取り付けてください。



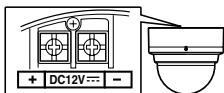
### DC12V または AC24V 電源ケーブルを接続する (TND-C222 のみ)

DC12V または AC24V 電源を接続します。

2 芯 VVF (ビニル絶縁ビニルシースケーブル) を使用した場合、接続距離は下表のようになります。(参考値)

導体直径	最大接続距離:DC12V	最大接続距離:AC24V
Φ 1.0 mm (AWG18)	50 m	130 m
Φ 1.6 mm (AWG14)	140 m	350 m
Φ 2.0 mm (AWG12)	220 m	550 m

- ご注意**
- 細いケーブルを使用するとケーブルの抵抗値が大きくなり、本機の消費電力が最大の時に有効電圧が低下してしまいます。太く、抵抗値の小さいケーブルを使用するか、電源ユニットをカメラの近くに設置し、ケーブルの長さを短くするなどの処置を行い、カメラの定格電流が流れたときの電圧降下を10%以内に抑えるよう設置してください。動作中に電圧が低下すると、性能が不安定になります。
  - AC24V 電源は、商用電源と絶縁された電源を使用してください。誤って使用した場合、内部回路が破損する可能性があります。そのまま使用せず、お買い上げの販売店にお問い合わせの上、必ず点検を受けてください。
  - DC12V と AC24V を同時に接続しないでください。
  - DC12V のケーブルを接続するときは、極性を正しく合わせてください。



### 電源ユニットを接続する (ESV-S222/ESV-S232 のみ)

使用する電源ユニット、同軸ケーブルにより最大延長距離は下記のようになります。

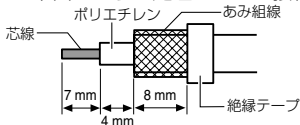
適合電源ユニット	ケーブルの種類	最大延長距離
EVC-10P/EVC-60P/ EVC-90P	3C-2V	300m
	5C-2V	500m
	7C-2V	500m
EVC-60P/EVC-90P	5C-FB	800m

### モニターを接続する (TND-C222 のみ)

3C-2V などの 75 Ω 系同軸ケーブルで接続してください。

### 同軸ケーブルについて

5C-FB、5C-2V あるいは 3C-2V 同軸ケーブルが接続可能です。同軸ケーブルの先端は、下図のように処理してから接続してください。



- メモ**
- 7C-2V は直接接続できません。5C-2V ケーブルなどを本機に接続し、7C-2V ケーブルへ中継してください。
  - あみ組線が他にショートしないように絶縁してください。

▶ 次ページへ

## 接続ケーブルについて(つづき)

### アラーム入出力端子を接続する(ESV-S232のみ)

接続機器に応じてメニューの設定が必要になります。

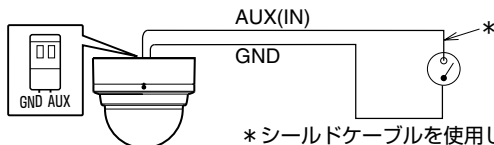
"メニュー設定"(別冊)の[AUX FUNCTION]をご覧ください。

初期設定値は、アラーム入力に設定されています。([IN:ALARM])

#### ■ アラーム入力端子

赤外線センサー、ドアセンサー、金属センサー、手動スイッチなどのセンサーと接続します。

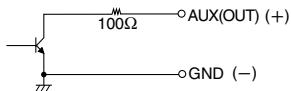
- アラーム入力信号は、内部回路へのノイズ混入を防止するため無電圧接点信号を加えてください。
- 電圧を供給しないでください。
- メニュー設定で接点がショート(MAKE)時にアラームとするか、接点がオープン(BREAK)時にアラームとするか設定可能です。
- アラーム信号は最低でも 200ms 以上続けて加えるようにしてください。それより短い場合、アラーム信号として認識されないことがあります。



#### ■ アラーム出力端子

報知器、表示器、ライト、ブザーなどの報知装置と接続します。

- アラーム出力信号はオープンコレクター出力となっており、アラーム時、ON となります。(耐圧 16 V、30 mA 以下)
- この端子は、極性があります。必ず-側出力より+側出力の電圧が高くなるよう接続してください。逆電圧を加えると破損します。



## カメラを取り付ける

### 取付方法を選ぶ

- 天井に取り付ける/壁などに横付けする(☞13 ページ)
- ケーブルを横出しして取り付ける(☞17 ページ)

#### メモ

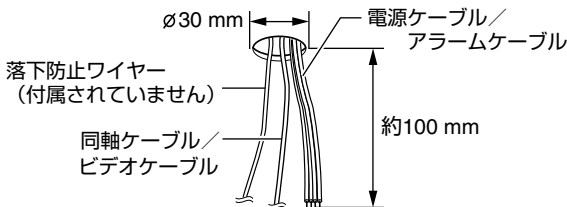
- 天井への取り付けは、落下物から目を保護するため、必ず保護めがねを着用して行なってください。
- 電工ボックスを使ってカメラを取り付けたい場合は、お買い上げ販売店にお問い合わせください。

### カメラを天井に取り付ける/壁などに横付けする

壁に取り付ける場合は、手順の中で"天井"と書かれた部分を"壁"として取り付けます。

#### ■ 準備

- 1 天井に穴(Φ30mm)をあけ、落下防止ワイヤー、ケーブル類を天井から出す(落下防止ワイヤーは付属されていません)



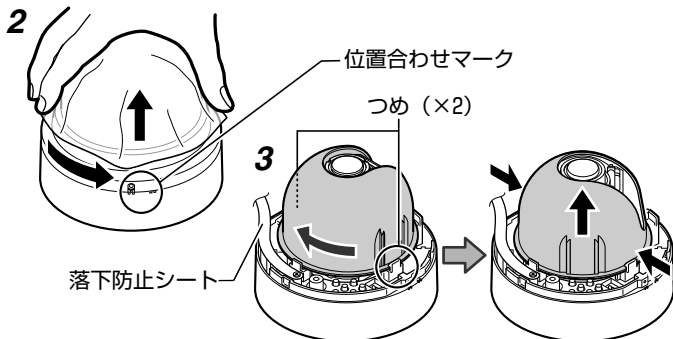
## カメラを取り付ける(つづき)

### 2 ドームカバーをはずす

位置合わせマークが親指と人差し指のあいだにくるようドームカバーをつかみ、反時計方向に回し、はずします。(位置合わせマークの詳細は 25 ページをご覧ください。)

### 3 インナードームをつめ(2箇所)からはずす

インナードームを約 45 度回し、図のようにつめの近くを両側からつかむと、はずれやすくなります。



### 4 映像に関するスイッチ設定を行う(8 ページ)

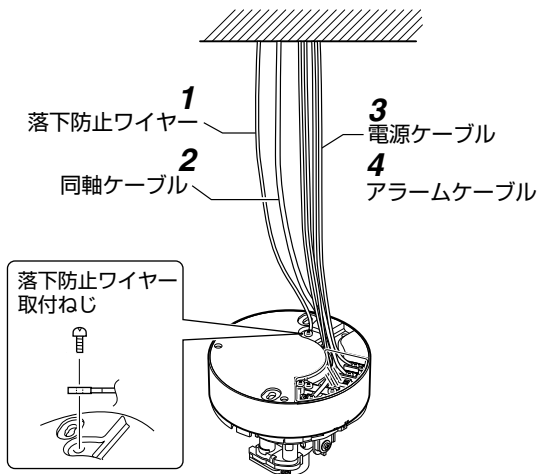
## ■ 接続

- 1 天井とカメラをつなぐ落下防止ワイヤーをカメラ本体に取りつける  
(落下防止ワイヤーは付属されていません)

**ご注意** 落下防止ワイヤーは、長さ・強度・材質(絶縁性)などを十分考慮したものを使用してください。

- 2 同軸ケーブルをつなぐ(電源ユニット)([P.11](#) ページ)  
(ESV-S222/ESV-S232)  
同軸ケーブルをつなぐ(ビデオモニター)([P.11](#) ページ)  
(TND-C222)
- 3 電源ケーブルをつなぐ([P.10](#) ページ)  
(TND-C222)
- 4 アラームケーブルをつなぐ([P.12](#) ページ)  
(ESV-S232)

**ご注意** 抜け防止のため、接続したアラームケーブルをワイヤークランプ(付属)で同軸ケーブルに固定してください。



▶ 次ページへ

## カメラを取り付ける(つづき)

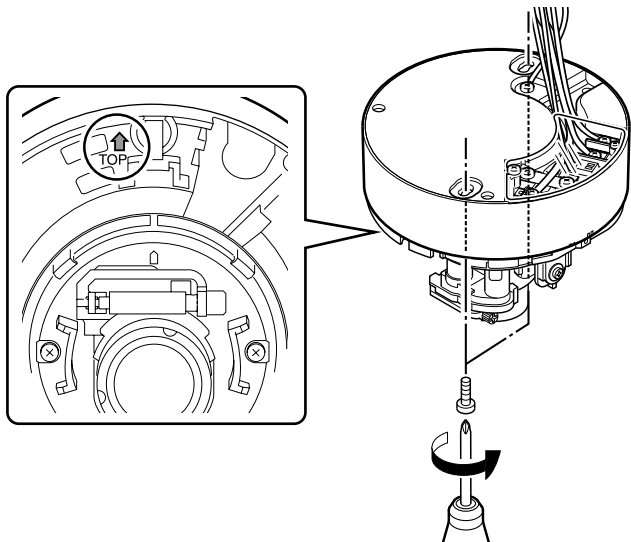
### ■ 取り付け

#### 1 カメラ本体を天井に取り付ける

撮影方向マーク(↑)を撮影方向に向け、カメラを天井に取り付けます。  
壁に取り付ける場合は、(↑)マークが上を向くように取り付けます。

**【注意】** 取付ねじについて(付属されていません)

- 取付穴は、 $\phi 4.5\text{mm}$  です。
- 皿ねじは使用しないでください。
- インパクトドライバーを使用する場合は最後まで締め込まず、締め込みは手で行なってください。ケースが破損するおそれがあります。



### ■ 映像調節

取り付けが完了したら、実際の映像を見ながら映像調節を行います。  
"映像を調節する" (P.18 ページ)

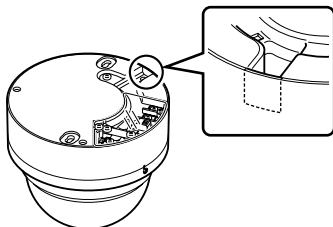


## ケーブルを横出して取り付ける

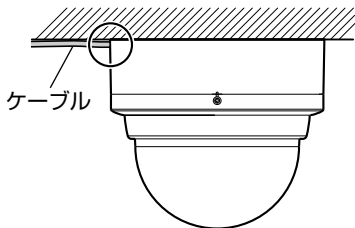
カメラを天井や壁に取り付ける場合、穴を開けずにケーブルを横出して取り付けることもできます。

カメラの取付方法は、"カメラを天井に取り付ける/壁などに横付ける" (P.13 ページ)と同じです。

### 1 ケーブル取出孔の両端をニッパーで切断し、ラジオペンチなどで割る



### 2 ケーブルを通し天井や壁に取り付ける



### 映像を調節する

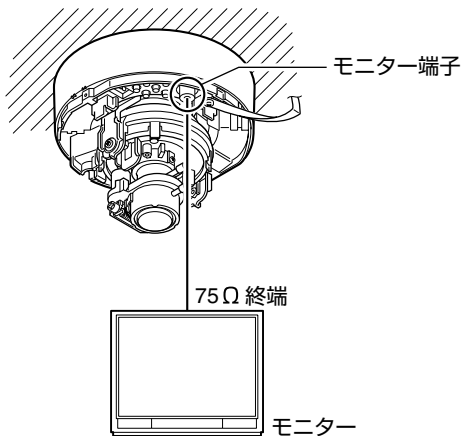
カメラの取り付けが終わったら、実際の映像を見ながら映像の調節を行います。

カメラ本体を触る前に必ずモニター端子の金属面を触り、体に帯電した静電気を放電してください。静電気によりカメラが故障する場合があります。

#### 1 モニターを取り付ける

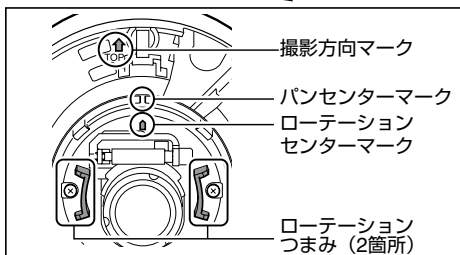
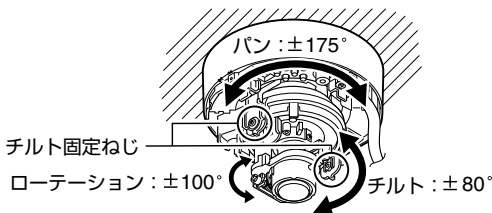
カメラの撮影方向、画角やフォーカスの調節を行うため、本機のモニター端子をテストモニターに接続します。

#### 2 カメラの電源を入れる



### 3 カメラの撮影方向を調節する

パン、チルト、ローテーションの調節をし、レンズを被写体に向けます。



#### メモ

- レンズはカメラ本体の撮影方向マークと、パンセンターマーク、ローテーションセンターマークの3つのマークを合わせた位置から、パン方向に  $\pm 175^\circ$ 、ローテーション方向に  $\pm 100^\circ$ 、それぞれ回転します。ローテーションを調節する場合は、レンズ部を持たず、必ずローテーションつまみを持ち、調節してください。
- チルトを調節する場合、チルト固定ねじを緩めてから調節してください。
- 画角の調節後、カメラの画角がずれないように、チルト固定ねじを締めて固定してください。

#### ご注意

- 調節範囲を超えてカメラを動かすと、本機の性能が維持できなくなる場合があります。
- 本機では、チルト、ローテーションの範囲が広いいため、画角や向きによっては、本機の一部が撮影画面に映り込む場合があります。
- カメラの方向を調節するとき、レンズ部を持たないでください。レンズ部に強い力を加えると、破損する場合があります。

▶ 次ページへ

## 映像を調節する(つづき)

### 4 画像サイズを調節する

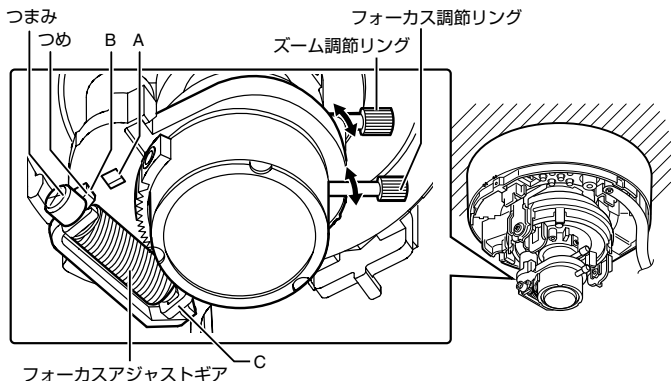
ズーム調節リングの固定ねじをゆるめ、リングを左右に動かし画像サイズを調節します。調節が終わったら、固定ねじをレンズ方向(被写体方向)に寄せて締めます。

### 5 フォーカスを粗調節する

- ① フォーカスアジャストギアをつまみを持ちあげ、つまみを図の A からはずし B に入れ、ギアのかみ合わせを解除します。

**ご注意** ギアを B より外側に開きすぎた場合、破損を防ぐためギアの軸が軸受け(図中 C)からはずれません。このような場合は軸を軸受け C に入れなおし、元の状態に戻してご使用ください

- ② フォーカス調節リングの固定ねじをゆるめ、左右に動かし、フォーカスを調節します。



## 6 フォーカスを微調節する

① **[▲]**ボタンを長押しします。

- フォーカスアジャストモードになり、画面に"FOCUS ADJUST MODE"を表示します。
- 絞りが開放になり被写界深度が浅くなるとともに輪郭が強調されます。
- フォーカス調節後に、**[▼]**、**[◀]**、**[▶]**/**[SET]**/**[MENU]**ボタンのいずれかを押し、フォーカスアジャストモードを解除することができます。また、約30秒で自動解除します。

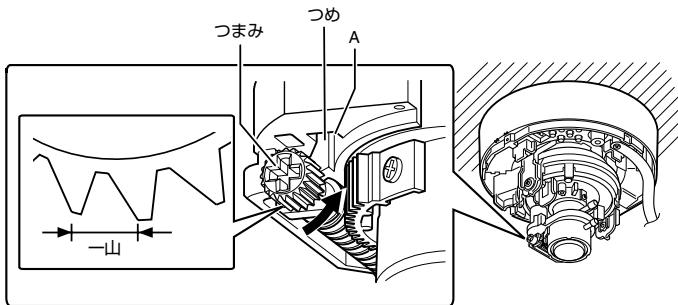
**メモ** フォーカス調節ボタンを押すと、電子シャッターが自動的にはたらくため、画面がちらつくことがありますが、故障ではありません。

② 被写体を撮影します。

③ つめを図の A に戻してから、フォーカスアジャストギアをつまみを回し、フォーカスを最適位置に調節します。

④ 図の矢印の方向へ、フォーカスアジャストギアをつまみを、約一山分回し、ドームカバーを取り付けたときの、フォーカスのズレを補正します。

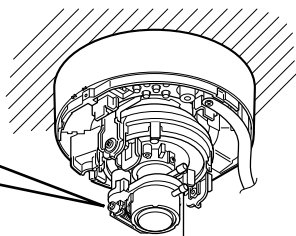
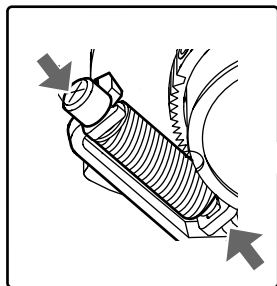
⑤ いったん保護シートをはがし、ドームカバーをかざしてフォーカスを確認します。確認が終了したら、再度保護シートをドームカバーにはりませ



## 映像を調節する(つづき)

### 7 フォーカス調節リングの固定ねじをしめる

フォーカスアジャストギアを、図の矢印の方向に、指ではさんで押さえながら、フォーカス調節リングの固定ねじをしめます。



フォーカス調節リング

## オートホワイトバランス調整

光源により光の色(色温度)は異なります。被写体を照らす主要な光源が変わったときは、ホワイトバランスを再調整してください。

1 [MENU]ボタンを押す

2 [▲/▼]ボタンで[WHITE BALANCE]項目を選択し、[◀▶]ボタンで"AWC"を選択してから[SET]ボタンを押す

3 ズームアップして画面に白を映す

画面の中心付近に被写体と同じ照明条件のところに白いものを置き、ズームアップして画面に白を映します。

4 [SET] ボタンを押す

オートホワイトバランス調整を開始します。オートホワイトバランス調整機能が動作中、画面に"AWC OPERATION" と表示します。

5 調整完了

正しくホワイトバランスがとれると、"AWC OK" と表示します。

SETボタン MENUボタン



WHITE BALANCE CONTROL	
▷ AWC SET	
R GAIN	160
B GAIN	160
AWC OPERATION	

AWC OPERATION  
(動作中)

WHITE BALANCE CONTROL	
▷ AWC SET	
R GAIN	160
B GAIN	160
AWC OK	

AWC OK  
(正常終了)

### ■ エラー表示

オートホワイトバランス調整が正常に終了しなかった場合、下記のようなメッセージを表示します。

● AWC ERROR : NG (被写体不良)

被写体の白が少ないときや色温度が適正でないときなどに表示されます。白い被写体が画面に十分になるようにして、再びホワイトバランスを取り直してください。

● AWC ERROR : LOW LIGHT (光量不足)

照明が暗いときに表示されますので、照明を明るくしてホワイトバランスを取り直してください。

● AWC ERROR : HIGH LIGHT (光量過剰)

照明が明るすぎるときに表示されますので、照明を暗くしてホワイトバランスを取り直してください。

● AWC ERROR : TIME OVER (被写体変動)

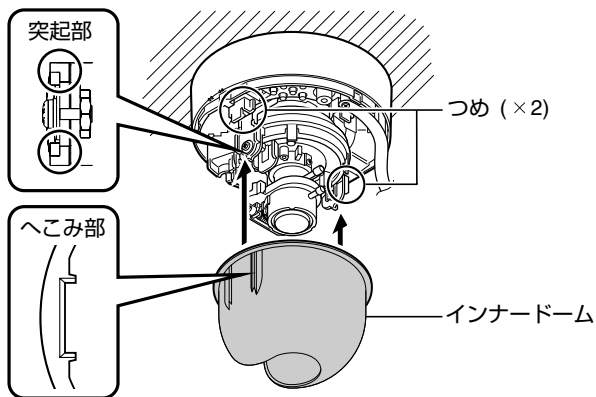
被写体が変動しているときに表示されますので、被写体を安定させてホワイトバランスを取り直してください。

## ドームカバーの取り付け

すべての設定が終了したら、ドームカバーを取り付けます。

### 1 インナードームを取り付ける

インナードームはレンズのチルト方向に対応した向きに取り付けます。インナードーム内側のへこみ部を、固定ねじ横の突起部にはめ込み、つめ(2箇所)でロックされるまで押し込みます。



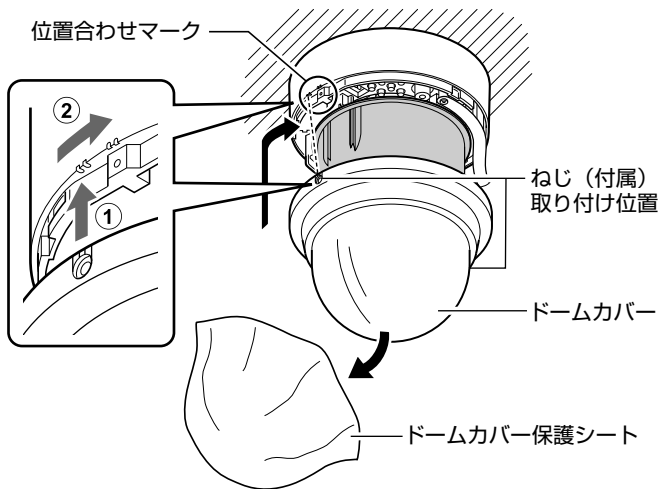


## 2 ドームカバーを取り付け、ドームカバー保護シートをはがす

- ① カメラ本体とドームカバーにある、同じ形状の位置合わせマークを合わせます。(カメラ本体側:2本線、ドームカバー側:2本線)
- ② ドームカバーを時計方向に回して固定します。

**メモ** 必要に応じて付属のねじ(2本)で、ドームカバーを固定します。

- ご注意**
- ドームカバーの取り付け後にカバーをはずすと、画角がずれることがあります。画角がずれた場合は、再度フォーカス・画角調節を行なってください。
  - ドームカバーは確実に取り付いたか確認してください。不完全な取り付けは、カバー落下の原因となります。



## 保証と修理サービスについて

### ■ 保証書について

保証書は販売店からお渡しします。必ず「販売店名・購入日」などの記入をお確かめください。保証内容をよくお読みの上、大切に保存してください。

保証期間：お買い上げ日から 1 年

### ■ 保証期間中に修理を依頼される時は、お買上げの販売店にご連絡ください。保証書の記載内容により、販売店が修理いたします。

### ■ 補修用性能部品について

当社ではこの製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

### ■ <ご連絡していただきたい内容>



- ご住所・ご氏名・電話番号
- 故障内容
- 製品名・型名
- 異常の状況(できるだけ詳しく)
- ご購入日(保証書をご覧ください)

### ■ 保証期間経過後、修理を依頼される時は、お買上げの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により、有料で修理いたします。

### ■ 保証期間中の修理などのアフターサービスについてご不明な点は、お買上げの販売店にお問い合わせください。

### ■ 消耗部品について

下記部品は消耗部品です。これらの部品の交換にとまなう部品代および技術料、出張料を含む修理費用は保証期間内でも有償となります。  
部品名：撮像素子（CCD）、一年保証のみ。追加延長保証対象外です。

<b>愛情点検</b>	<p>●長年ご使用の機器の点検をぜひ！ 熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により製品が劣化し故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。</p>	
	<p>このような症状はありませんか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源を入れても映像が出ない。</li> <li>●コードを動かすと通電しないことがある。</li> <li>●映像が時々、消えることがある。</li> <li>●変なにおいがしたり、煙が出たりする。</li> </ul>
		<p>ご使用を 中 止</p>

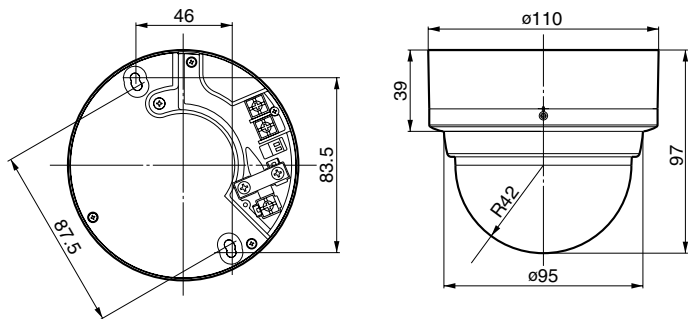
## 仕様

- 水平解像度 : 550TV 本 (標準)
- 映像S/N : 52 dB (標準、AGC OFF)
- 最低被写体照度: (ESV-S232)  
カラー映像: 0.05 lx (標準、50%、F1.2、AGC HIGH)  
白黒映像: 0.006 lx (標準、50%、F1.2、AGC HIGH)  
(ESV-S222/TND-C222)  
カラー映像: 0.05 lx (標準、50%、F1.2、AGC HIGH)  
白黒映像: 0.03 lx (標準、50%、F1.2、AGC HIGH)
- ズーム比 : 2.5 倍(広角タイプ)
- 焦点距離 : 2.4 mm ~ 6 mm
- 最大口径比 : F 1.2 (f = 2.4 mm) ~ F 1.8 (f = 6 mm)
- 最小絞り値 : F 360 相当
- 包括角度  
(理論値) : f = 2.4 mm のとき  
116.5° (H) × 85.3° (V)  
f = 6 mm のとき  
47.4° (H) × 35.5° (V)
- 撮像角度調節 : パン: ±175°  
チルト: ±80°  
ローテーション: ±100°
- 電源 : (TND-C222)  
AC24 V 50 Hz/60 Hz または DC12 V  
(ESV-S222/ESV-S232)  
電源ユニットから供給

## 仕様(つづき)

消費電力/電流	: 1.9 W (TND-C222) 120 mA (ESV-S222) 150 mA (ESV-S232)
質量	: 310 g
周囲温度	: -10 °C ~ 50 °C (動作) 0 °C ~ 40 °C (推奨)
適合電源ユニット	: (ESV-S222/ESV-S232 のみ) EVC-10P/EVC-60P/EVC-90P
適用可能 埋込ブラケット	: WB-S2205
添付物・付属品	: 保証書 × 1 安全上のご注意 × 1 取扱説明書 × 2 ねじ(M2) × 2 ワイヤークランプ × 1(ESV-S232 のみ)

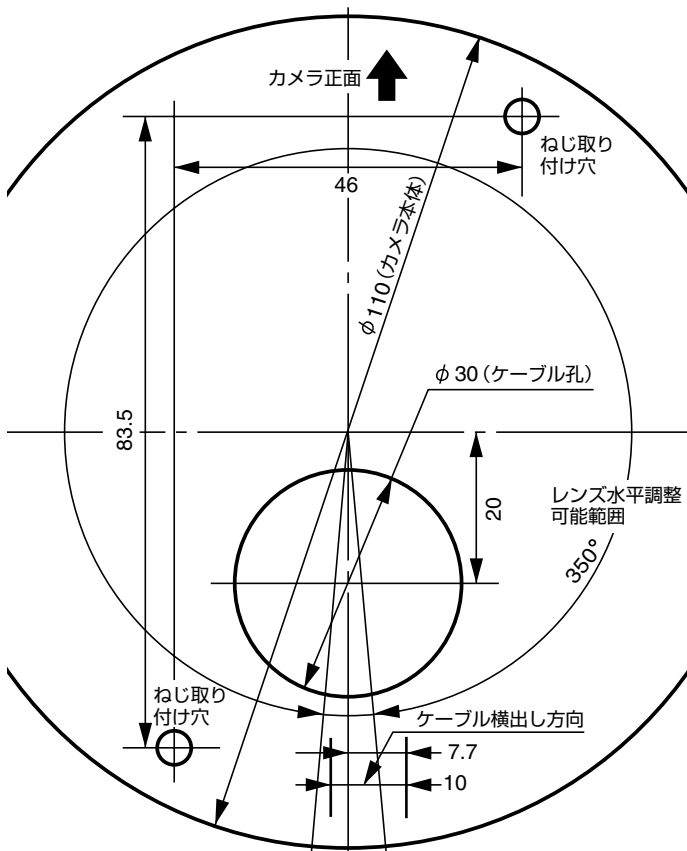
■ 外形寸法図(単位: mm)



※ 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

仕様(つづき)

■ 天井取付穴(単位: mm)





ESV-S222/

ESV-S232/

TND-C222

ト一△型力Xヲ